

保存版



# 品川区 防災地図

～自分と大切な家族をまもるために～



しながわ防災キャラクター  
ジージョくん

ホームページの使い方 P21～23

マップインテグレーション P4～7

地震マップ P8～15

浸水ハザードマップ P16～23

高浸水品川洪氾ハザードマップ P24～25

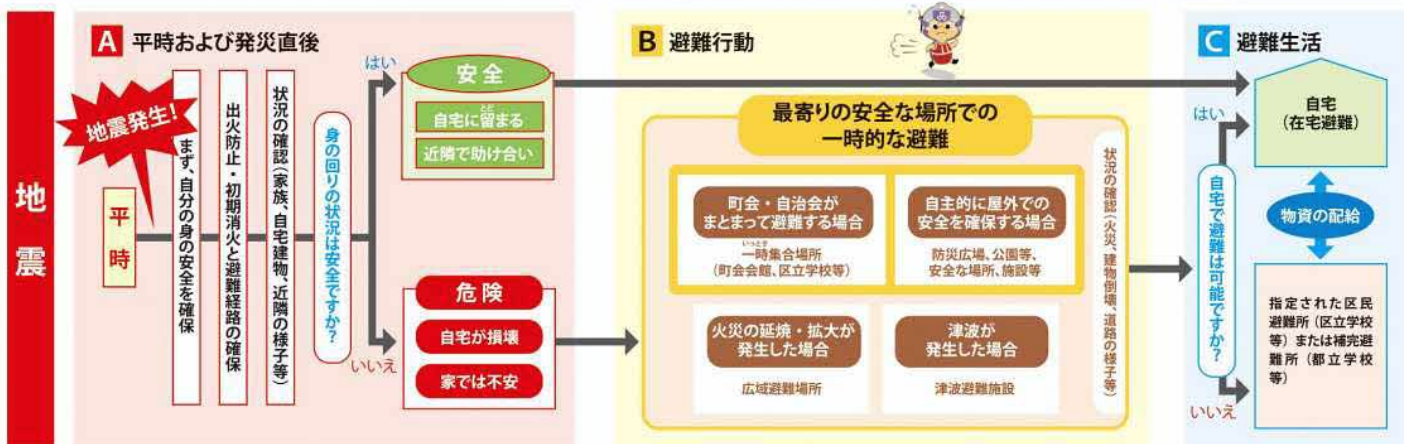
雨水出水浸水ハザードマップ P26～27

土砂災害ハザードマップ P28～32

参考図・情報 P33～裏表紙

# 地震に備えよう!

## 地震発生時の避難の流れ



## 避難場所・避難所・避難施設等の説明

- 一時(いつとき) 集合場所**  
防災区民組織(町会・自治会)単位で一時的に集合して様子を見る場所、集団で避難するための身近な場所です。震災時、まずどこへ逃げるかをあらかじめ確認しておきましょう。
- 広域避難場所**  
震災時、火災の延焼による危険から身を守るために、一時的に避難するオープンスペースです。火災で危険な時は、身近な公園等に避難する必要がありますが、さらに延焼の危険性がある場合は早めの判断で広域避難場所へ逃げましょう。
- 地区内残留地区**  
周辺の不燃化対策が進み広域避難場所に避難する必要がない地区です。
- 避難道路**  
震災時、広域避難場所までの遠距離避難(3km以上)が必要な地域または、火災による延焼の危険性が著しい地域から安全に避難するために都が指定した道路です。
- 自主避難施設**  
区内震度が5弱・5強で自宅での滞在が不安な方を受け入れるために15か所を開設します。
- 区民避難所**  
区内の震度が6弱以上の場合に防災区民組織が全52か所を開設し、町会・自治会ごとに避難所が決められています。
- 福祉避難所**  
区民避難所で他の避難者と生活を送ることが困難で、あらかじめ指定した避難行動要支援者を受け入れる施設です。
- 津波避難施設**  
「津波警報」「大津波警報」が発表された場合、地域住民などが避難・退避する鉄筋コンクリート造などの堅牢な建物です。標高の高い場所や津波避難施設へ避難する時間がない場合は、建物の2階以上へ避難しましょう。

## 風水害時の土砂災害に備えよう!

- 土砂災害の危険度を知ろう**  
土砂災害の被害が予想される区域には「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」があります。どちらも警戒が必要な区域ですが「土砂災害特別警戒区域」はより危険性が高い区域です。

### 土砂災害警戒区域

住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれのある区域

### 土砂災害特別警戒区域

建築物が損壊し、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれのある区域



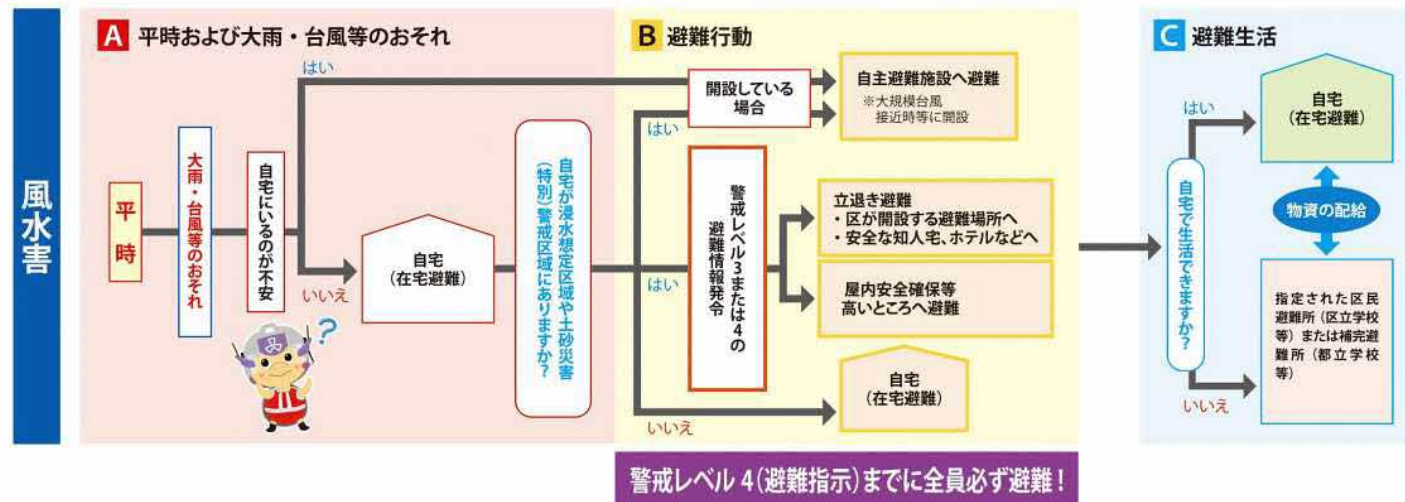
### 土砂災害のおそれがある時

土砂災害警戒情報はテレビ、気象庁ホームページ等から確認できます。自主避難の判断をするほか、区からの避難情報等が発表・発令された場合は、安全な場所へ避難をお願いします。立退き避難が原則です。  
土砂災害の危険がある区域を把握し、いざという時の避難場所までの経路を確認ください。



# 風水害に備えよう!

## 風水害発生時の避難の流れ



## 風水害時の避難情報と行動

避難情報等は、避難が必要な地域(避難対象地域)におおむね下の表のとおり発表・発令されます。避難情報等は必ずしもこの順番とは限りません。また、これらの情報が発令等されていなくても危険を感じたら開設状況を確認し、自主避難施設または避難場所へ移動してください。移動することでかえって、危険な場合は近くの安全な場所に避難するか、建物の中で安全確保をしてください。

警戒レベル	避難情報等	とるべき行動
警戒レベル5 	緊急安全確保	災害が発生、または切迫した状況。命を守る行動をとる。
<警戒レベル4までに必ず避難!>		
警戒レベル4 全員避難 	避難指示	速やかに全員避難を開始する。
警戒レベル3 高齢者等は避難 	高齢者等避難	避難に時間を要する高齢者等は避難を開始する。その他の人は避難準備をする。
警戒レベル2 	注意報	ハザードマップを見て、災害に備えた避難行動を確認する。
警戒レベル1 	早期注意情報(警報級の可能性)	天気予報等を見て、災害への心構えを高める。

※内閣府(消防担当)・消防庁より引用

## 避難施設・避難場所の説明

- 自主避難施設**  
区内に被害をもたらすような台風の直撃などに際し、自宅での滞在に不安を感じる方を受け入れる施設です。台風の規模などに応じて、開設の是非・時刻を区が決定します。
- 避難場所**  
避難情報の発令等に際し、危険を回避するために一時的に避難者を受け入れる場所です。区立学校等が事前に指定され、避難情報の発令等に併せて区が開設を決定します。  
目黒川氾濫、高潮、多摩川洪水、土砂災害の各災害で避難場所が決められています。



マップインデックス(区域・該当ページ)

※地図の範囲を含む町会・自治会にページがふられています。

Table with columns: 区域, 町会・自治会, 区民避難所, ページ(P), 地震, 浸水, 高潮, 洪水, 雨水, 土砂. Lists various regions and their corresponding page numbers for disaster preparedness.

Table with columns: 区域, 町会・自治会, 区民避難所, ページ(P), 地震, 浸水, 高潮, 洪水, 雨水, 土砂. Continuation of the index table for disaster preparedness.

Table with columns: 区域, 町会・自治会, 区民避難所, ページ(P), 地震, 浸水, 高潮, 洪水, 雨水, 土砂. Continuation of the index table for disaster preparedness.

Table with columns: 区域, 町会・自治会, 区民避難所, ページ(P), 地震, 浸水, 高潮, 洪水, 雨水, 土砂. Continuation of the index table for disaster preparedness.

△=避難所が2か所に分かれる町会・自治会です。
※病院の診療機能の確保または被災者の健康管理等を目的に期間を定めて設置される医療看護活動を行う場所です。
発災後おおむね72時間以降から1週間程度まで学校医療看護所が設置されます。なお、おおむね72時間前までは緊急医療看護所が設置されます。

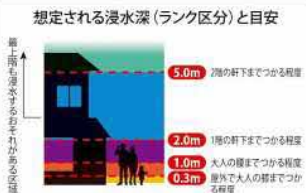
マップインデックス

# マップ全体図

1:24,000  
0 200 1000m

世田谷区

想定エリア: 立会川(東大井二、南大井一丁目一部)



**凡例(津波)**  
最大浸水深  
1.0m以上 2.0m未満の区域  
0.3m以上 1.0m未満の区域  
0.3m未満

**AED(自動体外式除細動器)設置施設一覧**  
区内の各施設(庁舎、保健所、地域センター、図書館、小中学校等)にAEDを設置しています。設置施設の一覧は区ホームページをご覧ください。  
区ホームページはこちら

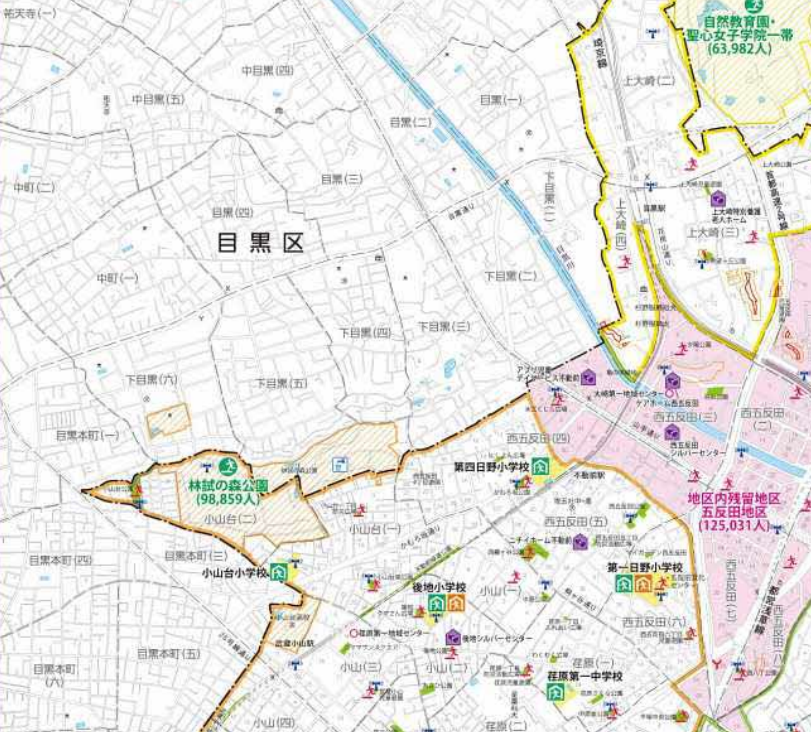
## ③ P12分図



	区役所・地域センター		公園・緑地・防災広場
	警察署・交番		応急給水槽
	消防署・消防出張所		防災行政無線
	広域避難場所 ※避難先は区域の枠線と同色の場所が目安になります。		緊急医療救護所
	地区内残留地区		避難道路
	区民避難所		土砂災害警戒区域
	一時集合場所		津波避難施設
	福祉避難所		自主避難施設

## ① 地震マップ P8~9 浸水ハザードマップ P16~17

目黒区



## ③ 地震マップ P12~13 浸水ハザードマップ P20~21

大田区



## ② 地震マップ P10~11 浸水ハザードマップ P18~19

港区



## ④ 地震マップ P14~15 浸水ハザードマップ P22~23

大田区

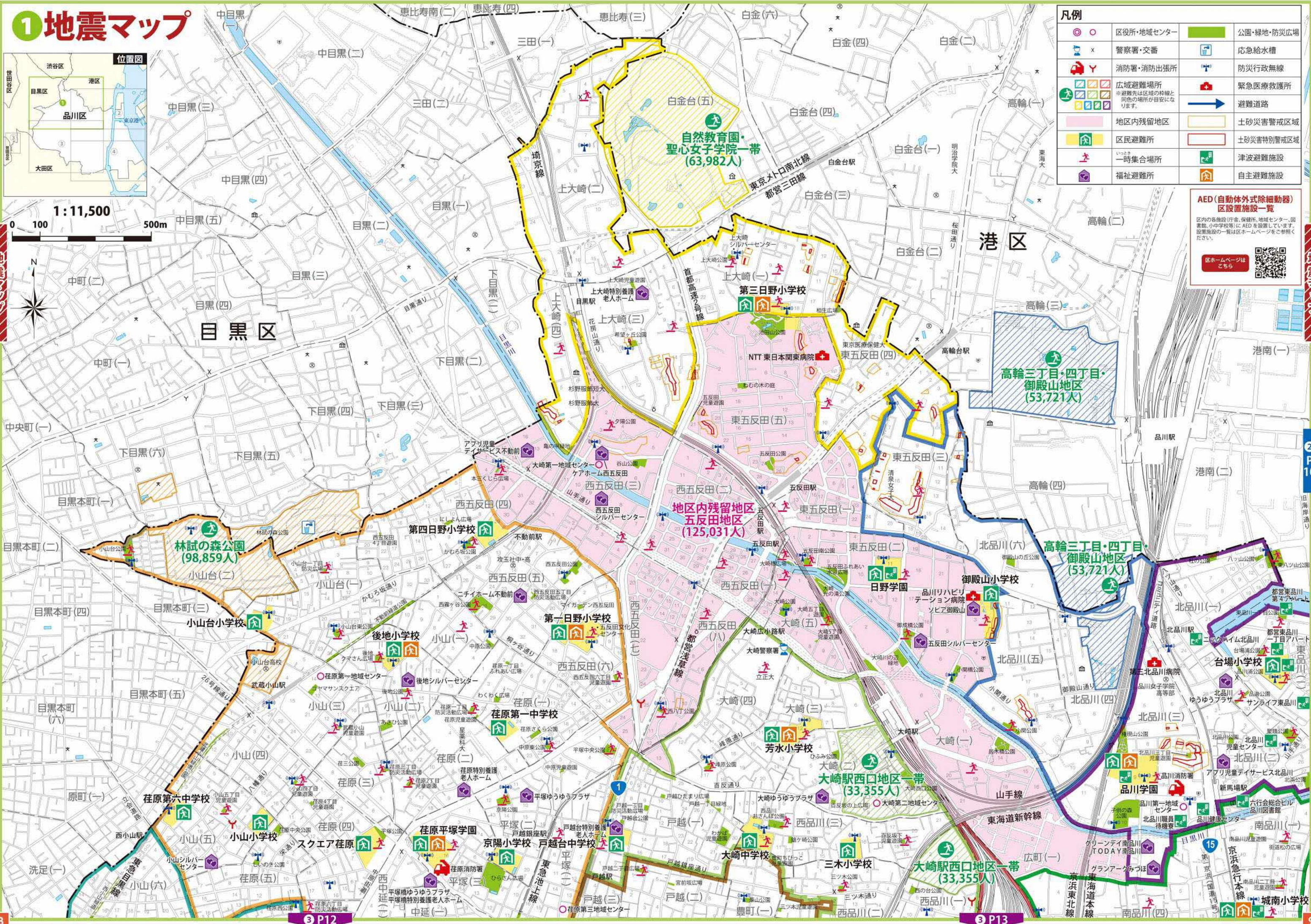


マップインマップ

# 1 地震マップ



1:11,500  
0 100 500m



**凡例**

○	区役所・地域センター	■	公園・緑地・防災広場
✕	警察署・交番	■	応急給水槽
🚒	消防署・消防出張所	⚡	防災行政無線
🏠	広域避難場所 ※避難先は区域の枠線と 同色の場所が目安にな ります。	🏠	緊急医療救護所
🏠	地区内残留地区	➡	避難道路
🏠	区民避難所	🚧	土砂災害警戒区域
🏠	いっしょ 一時集合同所	🚧	土砂災害特別警戒区域
🏠	福祉避難所	🏠	津波避難施設
		🏠	自主避難施設

**AED (自動体外式除細動器) 設置施設一覧**

区内の各施設(庁舎、保健所、地域センター、図書館、小中学校等)にAEDを設置しています。設置施設の一覧は区ホームページをご参照ください。

区ホームページはこちら

# 2 地震マップ



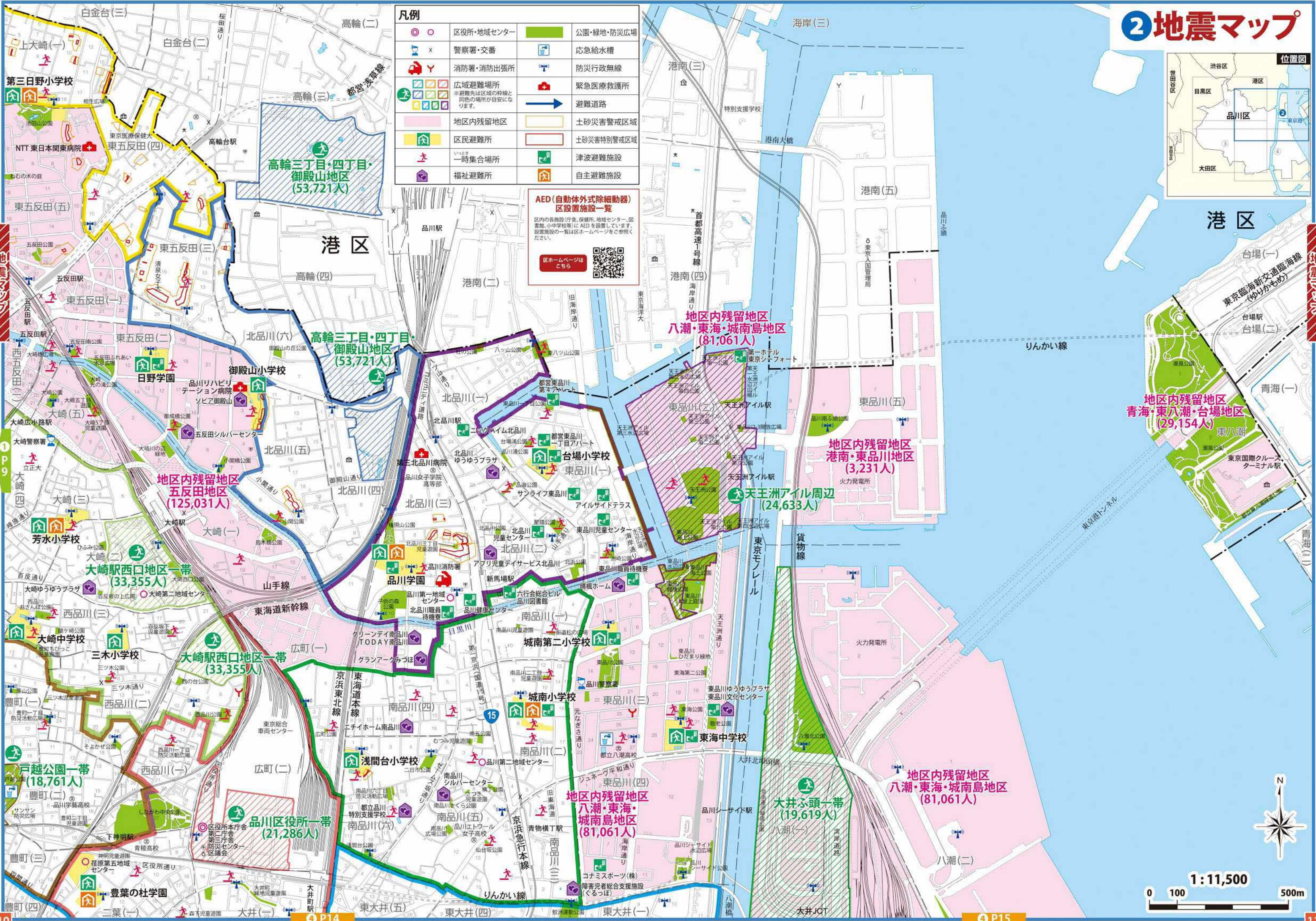
**凡例**

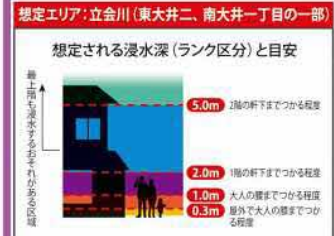
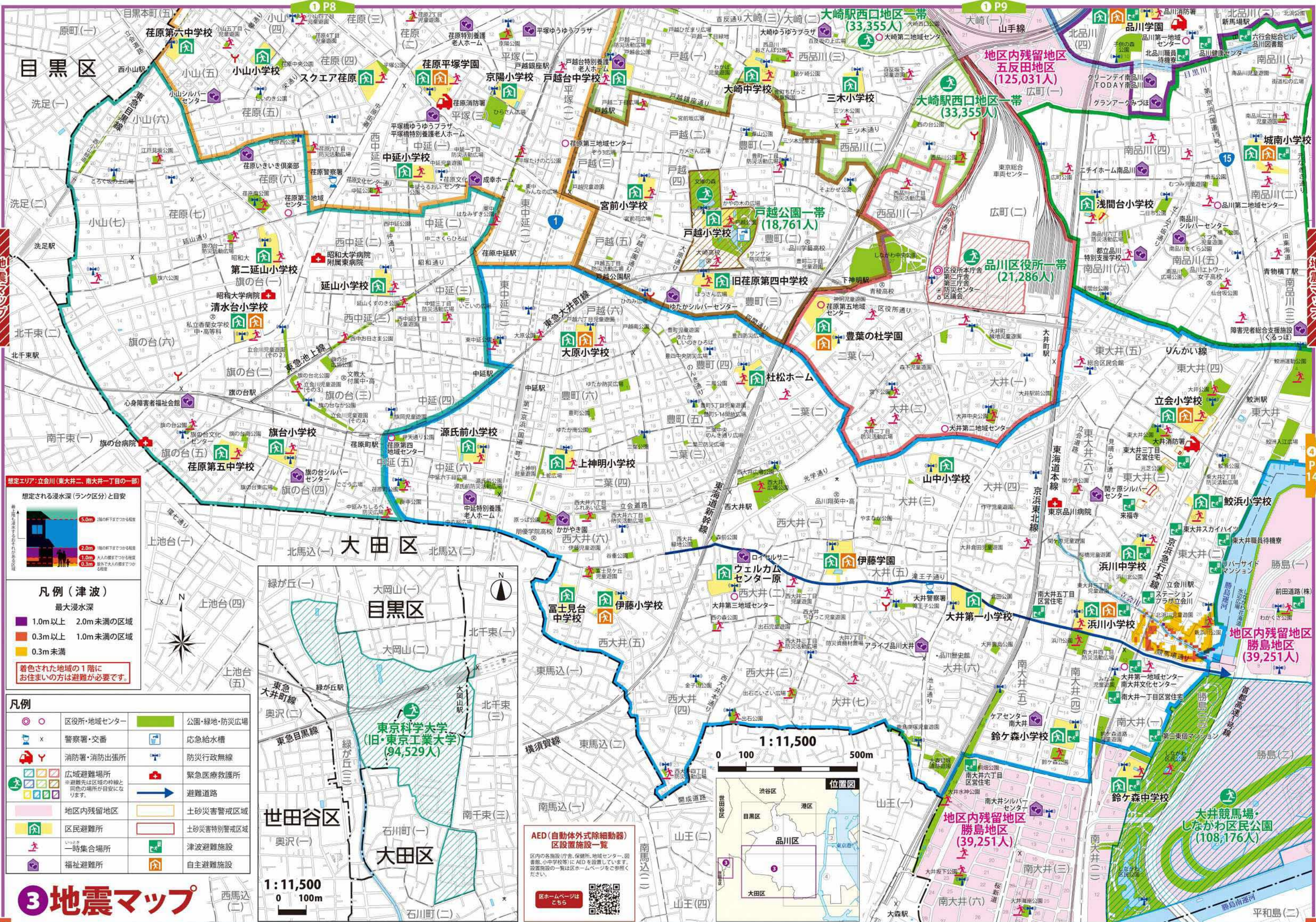
○	区役所・地域センター	■	公園・緑地・防災広場
✕	警察署・交番	■	応急給水槽
🚒	消防署・消防出張所	📡	防災行政無線
🏠	広域避難場所 ※避難先は区域の枠線と 同色の場所が目安になり ます。	🏠	緊急医療救護所
🏠	地区内残留地区	➡	避難道路
🏠	区民避難所	🚧	土砂災害警戒区域
🏠	いっなき 一時集合同所	🚧	土砂災害特別警戒区域
🏠	福祉避難所	🏠	津波避難施設
		🏠	自主避難施設

**AED (自動体外式除細動器) 設置施設一覧**

区内の各施設(庁舎、保健所、地域センター、図書館、小中学校等)にAEDを設置しています。設置施設の一覧は区ホームページをご参照ください。

区ホームページはこちら





**凡例 (津波)**  
 最大浸水深  
 1.0m以上 2.0m未満の区域  
 0.3m以上 1.0m未満の区域  
 0.3m未満  
 着色された地域の1階にお住まいの方は避難が必要です。

	区役所・地域センター		公園・緑地・防災広場
	警察署・交番		応急給水槽
	消防署・消防出張所		防災行政無線
	広域避難場所 ※避難先は区域の枠線と 同色の場所が目安になります。		緊急医療救護所
	地区内残留地区		避難道路
	区民避難所		土砂災害警戒区域
	一時集合同所		土砂災害特別警戒区域
	福祉避難所		津波避難施設
	自主避難施設		自主避難施設

**3 地震マップ**

**AED (自動体外式除動器) 設置施設一覧**  
 区内の各施設(庁舎、保健所、地域センター、図書館、小中学校等)にAEDを設置しています。設置施設の一覧はホームページをご確認ください。

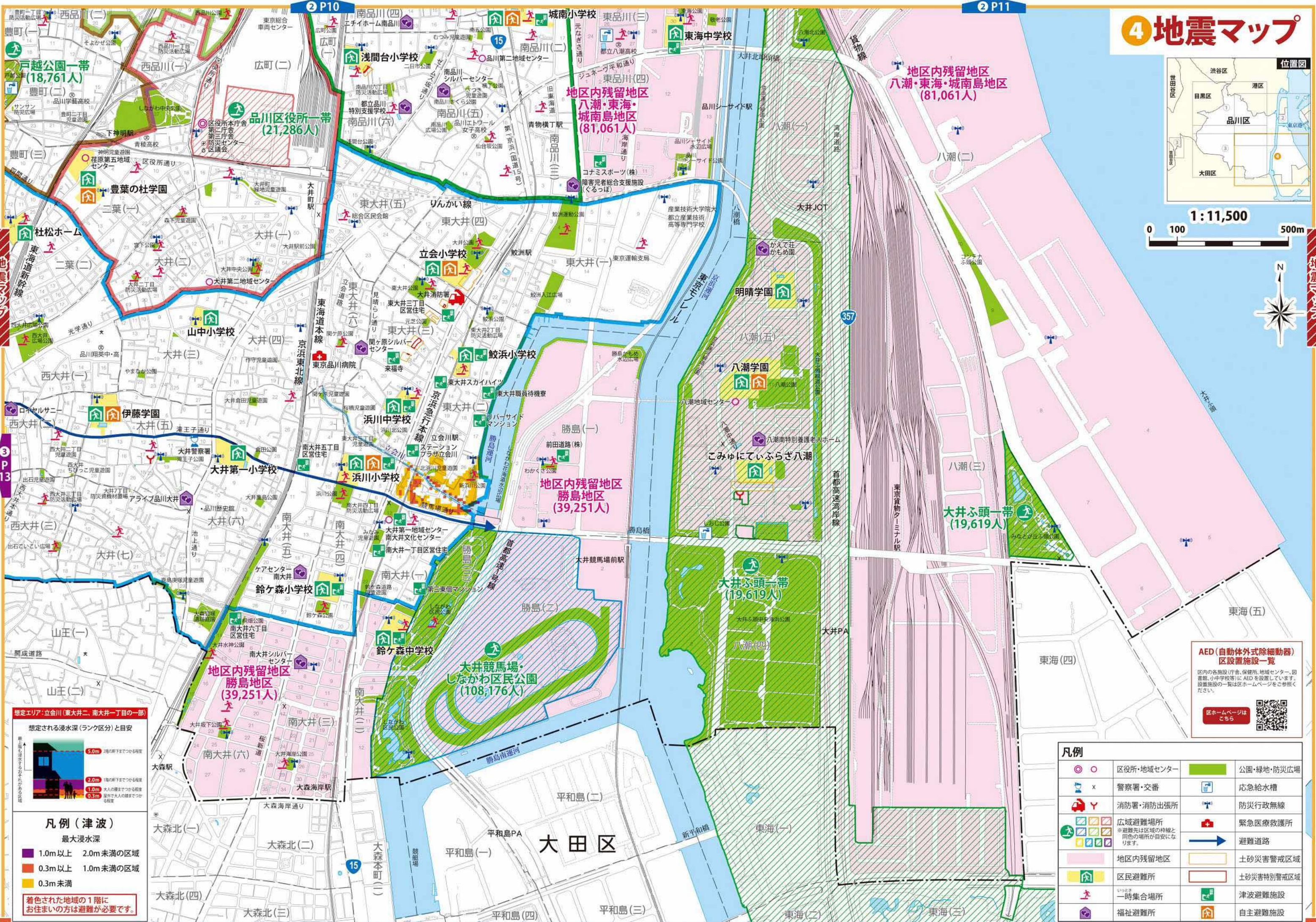
区ホームページはこちら



# 4 地震マップ



1:11,500



**想定エリア:立会川(東大井二、南大井一丁目一部)**

想定される浸水深(ランク区分)と目安

5.0m	2階の軒下までつかる程度
2.0m	1階の軒下までつかる程度
1.0m	大人の腰までつかる程度
0.3m	足元までつかる程度

**凡例(津波)**

最大浸水深

- 1.0m以上 2.0m未満の区域
- 0.3m以上 1.0m未満の区域
- 0.3m未満

着色された地域の1階にお住まいの方は避難が必要です。

**AED(自動体外式除細動器)区設置施設一覧**

区内の各施設(庁舎、保健所、地域センター、図書館、小中学校等)にAEDを設置しています。設置施設の一覧は区ホームページをご参照ください。

区ホームページはこちら

**凡例**

区役所・地域センター	公園・緑地・防災広場
警察署・交番	応急給水槽
消防署・消防出張所	防災行政無線
広域避難場所 ※避難先は区域の枠線と同色の場所が目安になります。	緊急医療救護所
地区内残留地区	避難道路
地区避難所	土砂災害警戒区域
一時集合場所	土砂災害特別警戒区域
福祉避難所	津波避難施設
	自主避難施設

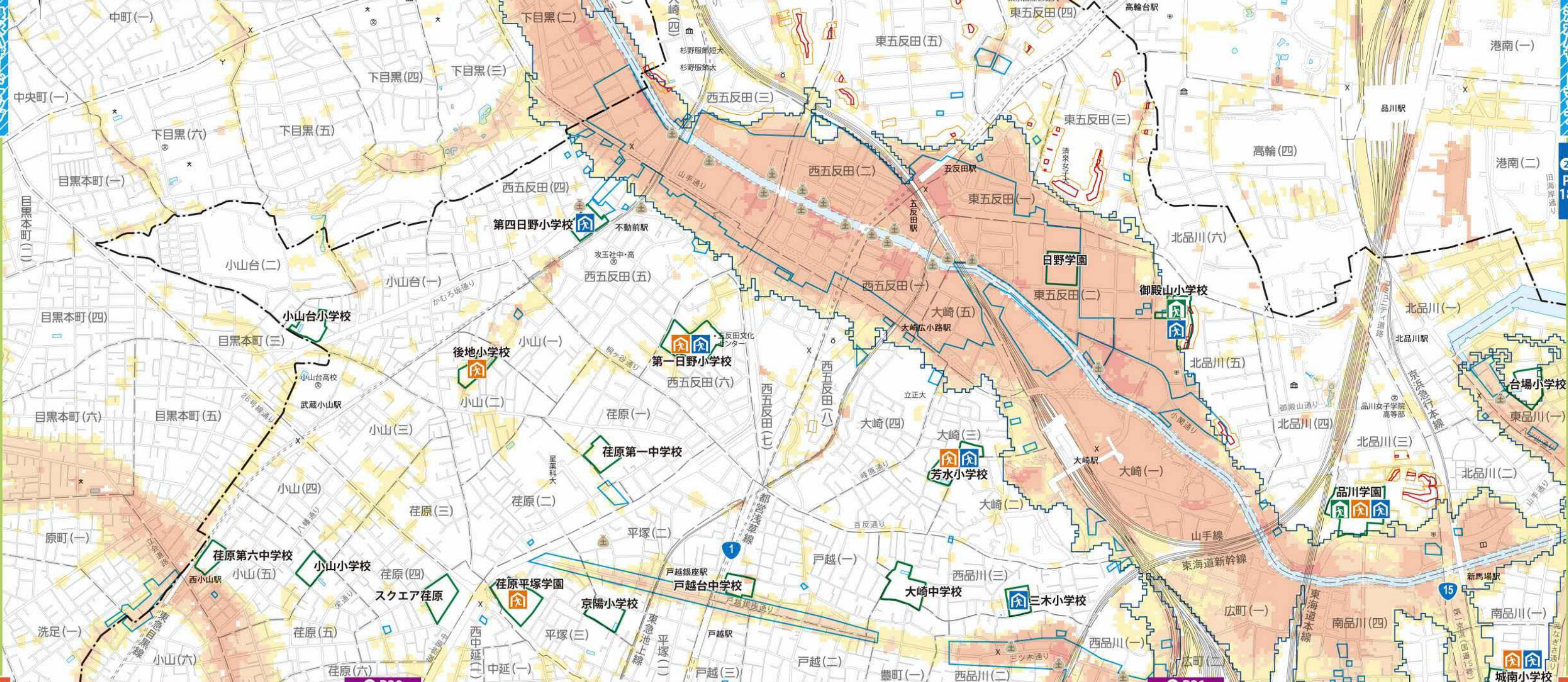
# ① 浸水ハザードマップ

※河川からの氾濫(外水氾濫)および  
下水道からの氾濫(内水氾濫)

令和8年6月一部修正



1:11,500  
0 100 500m



### 凡例(土砂)

- 土砂災害警戒区域等
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 避難場所(土砂)

### 想定される浸水深(ランク区分)と目安

### 凡例(浸水)

浸水想定区域(浸水深)

- 5.0m以上 10.0m未満の区域
- 3.0m以上 5.0m未満の区域
- 1.0m以上 3.0m未満の区域
- 0.5m以上 1.0m未満の区域
- 0.1m以上 0.5m未満の区域

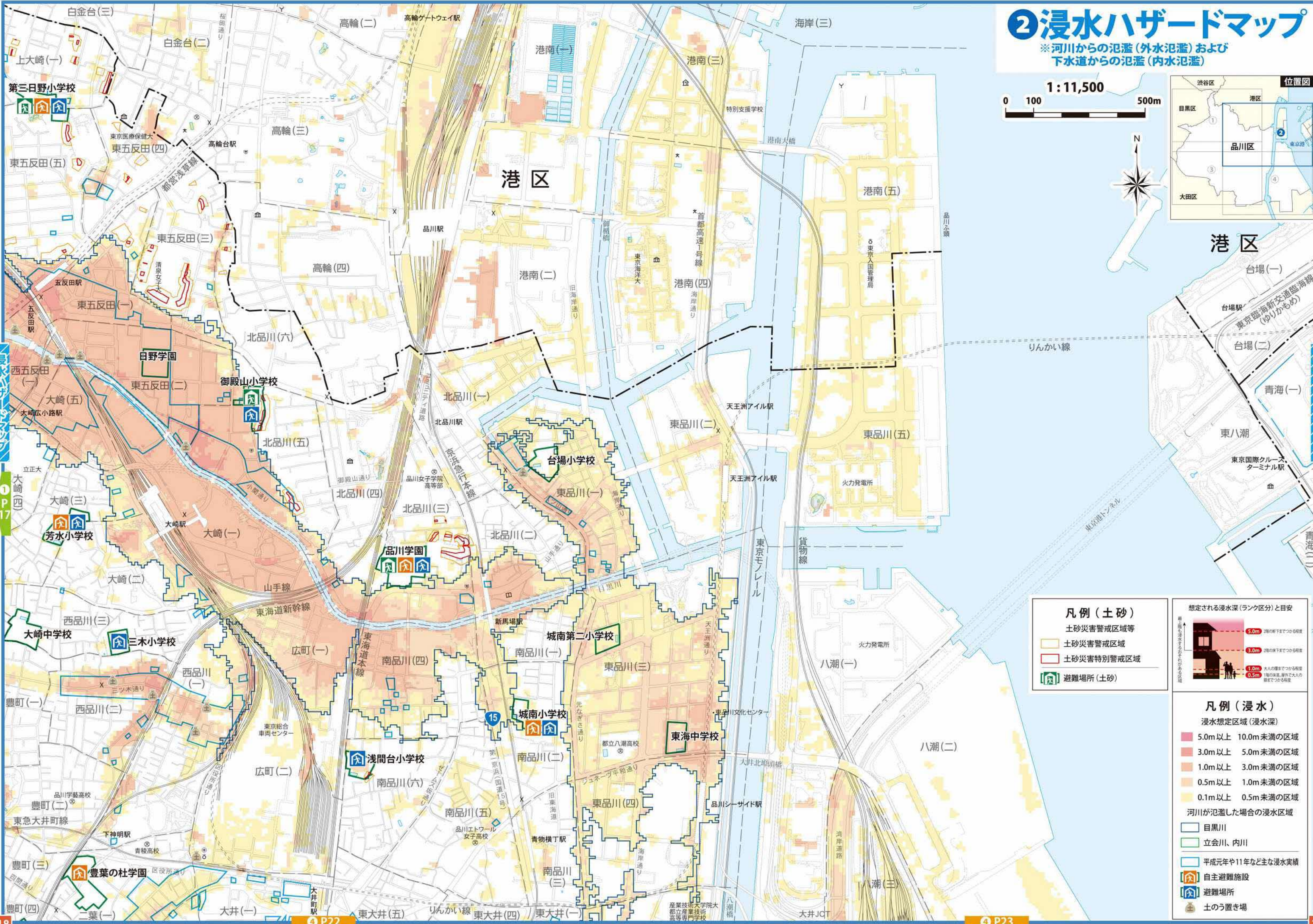
河川が氾濫した場合の浸水区域

- 目黒川
- 立会川、内川
- 平成元年や11年など主な浸水実績
- 自主避難施設
- 避難場所
- 土のう置き場

# ② 浸水ハザードマップ

※ 河川からの氾濫 (外水氾濫) および  
下水道からの氾濫 (内水氾濫)

1:11,500



**凡例 (土砂)**

- 土砂災害警戒区域等
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 避難場所 (土砂)

**想定される浸水深 (ランク区分) と目安**

- 5.0m 2階の床下までつかる程度
- 3.0m 2階の床下までつかる程度
- 1.0m 大人の膝までつかる程度
- 0.5m 1階の床高、厚手の大人の膝までつかる程度

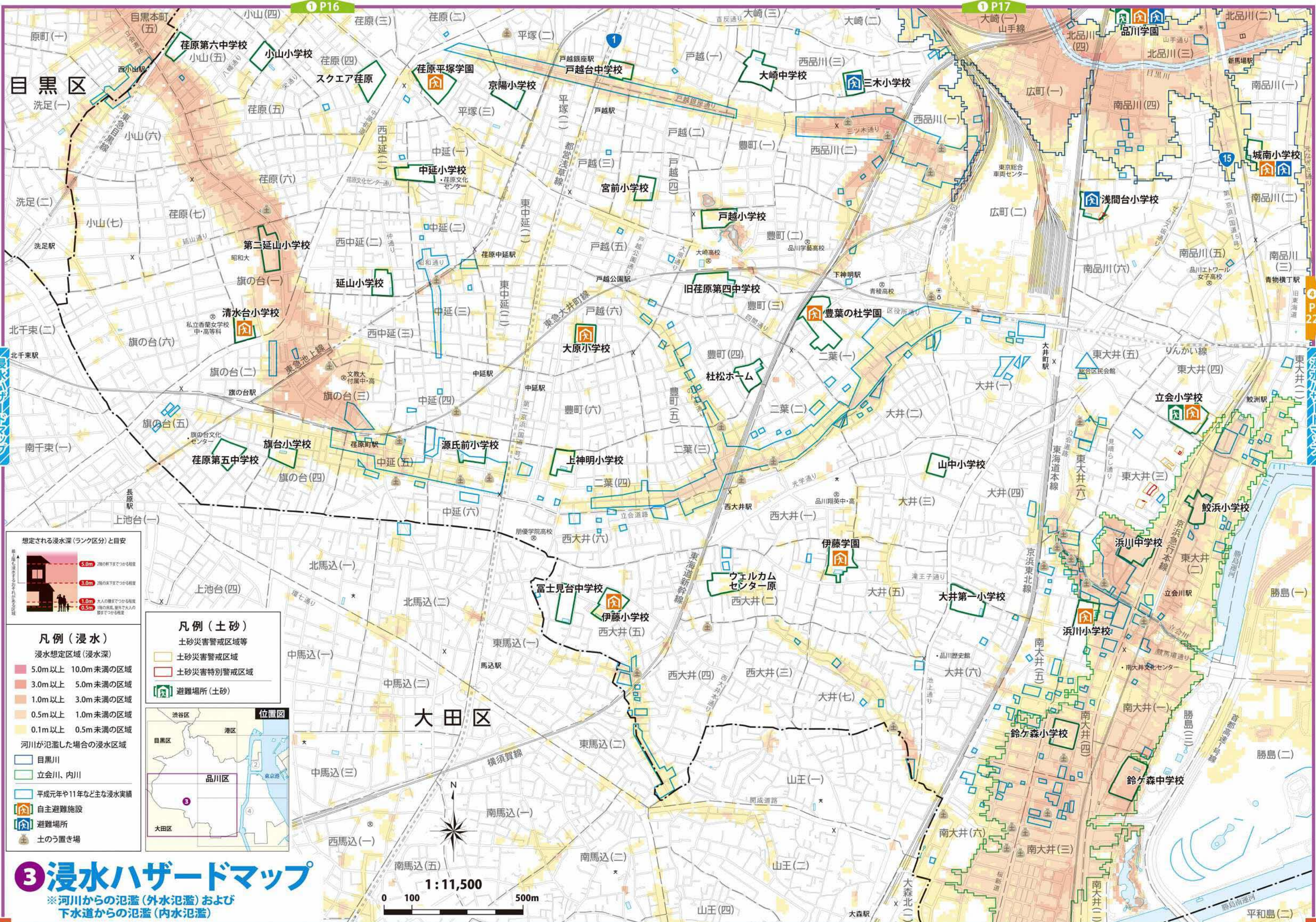
**凡例 (浸水)**

浸水想定区域 (浸水深)

- 5.0m以上 10.0m未満の区域
- 3.0m以上 5.0m未満の区域
- 1.0m以上 3.0m未満の区域
- 0.5m以上 1.0m未満の区域
- 0.1m以上 0.5m未満の区域

河川が氾濫した場合の浸水区域

- 目黒川
- 立会川、内川
- 平成元年や11年など主な浸水実績
- 自主避難施設
- 避難場所
- 土のう置き場



- 凡例 (浸水)**  
 浸水想定区域 (浸水深)  
 5.0m以上 10.0m未満の区域  
 3.0m以上 5.0m未満の区域  
 1.0m以上 3.0m未満の区域  
 0.5m以上 1.0m未満の区域  
 0.1m以上 0.5m未満の区域  
 河川が氾濫した場合の浸水区域  
 目黒川  
 立会川、内川  
 平成元年や11年など主な浸水実績  
 自主避難施設  
 避難場所  
 土のう置き場

- 凡例 (土砂)**  
 土砂災害警戒区域等  
 土砂災害警戒区域  
 土砂災害特別警戒区域  
 避難場所 (土砂)



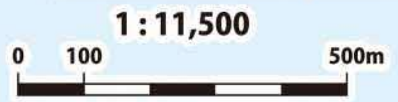
# 3 浸水ハザードマップ

※河川からの氾濫(外水氾濫)および下水道からの氾濫(内水氾濫)

1:11,500  
 0 100 500m

# 4 浸水ハザードマップ

※河川からの氾濫(外水氾濫)および下水道からの氾濫(内水氾濫)



- 凡例(浸水)**
- 浸水想定区域(浸水深)
- 5.0m以上 10.0m未満の区域
  - 3.0m以上 5.0m未満の区域
  - 1.0m以上 3.0m未満の区域
  - 0.5m以上 1.0m未満の区域
  - 0.1m以上 0.5m未満の区域
- 河川が氾濫した場合の浸水区域
- 目黒川
  - 立会川、内川
  - 平成元年や11年など主な浸水実績
- 自主避難施設
- 避難場所
- 土の置き場

- 凡例(土砂)**
- 土砂災害警戒区域等
  - 土砂災害警戒区域
  - 土砂災害特別警戒区域
  - 避難場所(土砂)

この図は、東京都が令和元年6月27日に公表した城南地区を流れる渋谷川・古川、目黒川、立会川、内川及び呑川の流域や、雨水が直接海域や国管理河川へ排水される区域等を対象にして、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の大雨が降った場合に、浸水が予想される区域と想定される最大の水深及び土砂災害防止法に基づき、品川区に指定した土砂災害(特別)警戒区域を示したものです。

想定降雨量は城南地区河川流域の1時間最大雨量153mm、24時間総雨量690mmです。

浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化することがあります。



# 雨水出水浸水ハザードマップ

※下水道からの氾濫(内水氾濫)

1:24,000  
0 200 1000m

世田谷区



雨水出水の浸水は、屋内安全確保を中心に高いところに避難してください。

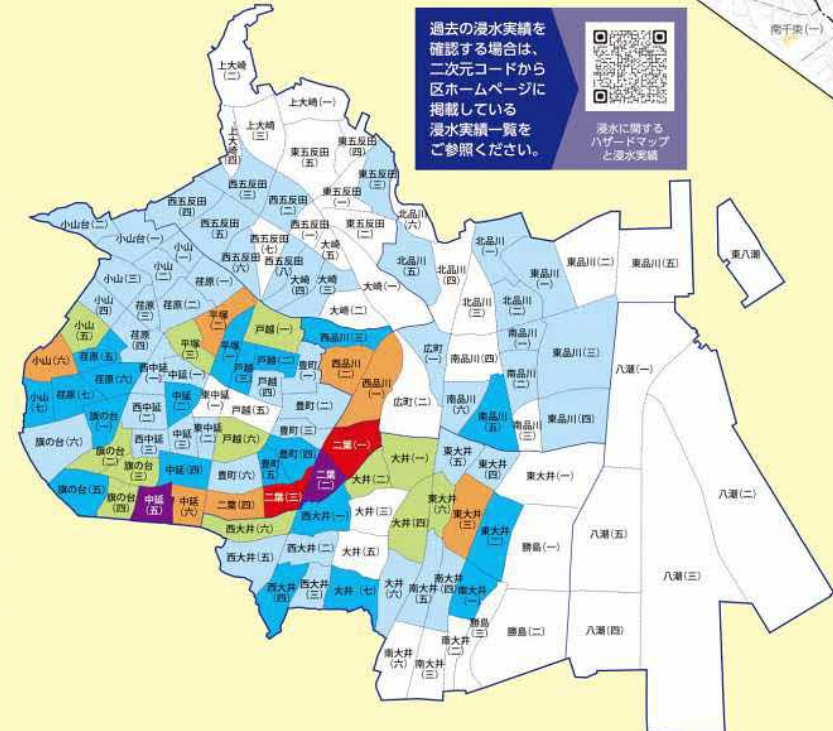
## 屋内安全確保



浸水階から上階への避難 浸水しない階に留まる

※平屋や1階、2階など低い階に居住の方は、浸水想定区域から立退き避難を検討ください。  
※都営住宅などの共有部分(エレベーターホール・廊下など)に緊急避難をすることも可能です。

## 令和7年9月11日浸水実績図



過去の浸水実績を確認する場合は、二次元コードから区ホームページに掲載している浸水実績一覧をご参照ください。



浸水に関するハザードマップと浸水実績

- 令和7年9月11日に発生した大雨(最大時間雨量約120mm)による浸水実績(令和8年1月31日時点)を町丁目別に示した図です。
- 浸水実績は、区への報告に基づいた現地調査による実績となり、区内のすべての浸水被害を示すものではありません。
- 過去の地域の浸水を知っていただくことにより、浸水防止対策、避難等に役立てていただく目的で公開しており、個別の住宅浸水を特定するものではありません。
- 個人情報保護の観点から、公開できる範囲は町丁目までとしており、電話や窓口でお問い合わせいただいたとしても公開いたしません。

76件から110件	赤
51件から75件	紫
31件から50件	黄
16件から30件	緑
6件から15件	青
1件から5件	白
0件	白

**凡例(土砂)**

- 土砂災害警戒区域等
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域
- 避難場所(土砂)

**想定される浸水深(ランク区分)と目安**

- 5.0m 2階の軒下までつかれる程度
- 3.0m 2階の床下までつかれる程度
- 1.0m 大人の腰までつかれる程度
- 0.5m 大人の膝までつかれる程度

**凡例(浸水)**

浸水想定区域(浸水深)

- 5.0m以上 ※品川区区内なし
- 3.0m以上 5.0m未満の区域
- 1.0m以上 3.0m未満の区域
- 0.5m以上 1.0m未満の区域
- 0.1m以上 0.5m未満の区域

自主避難施設  
土のう置き場

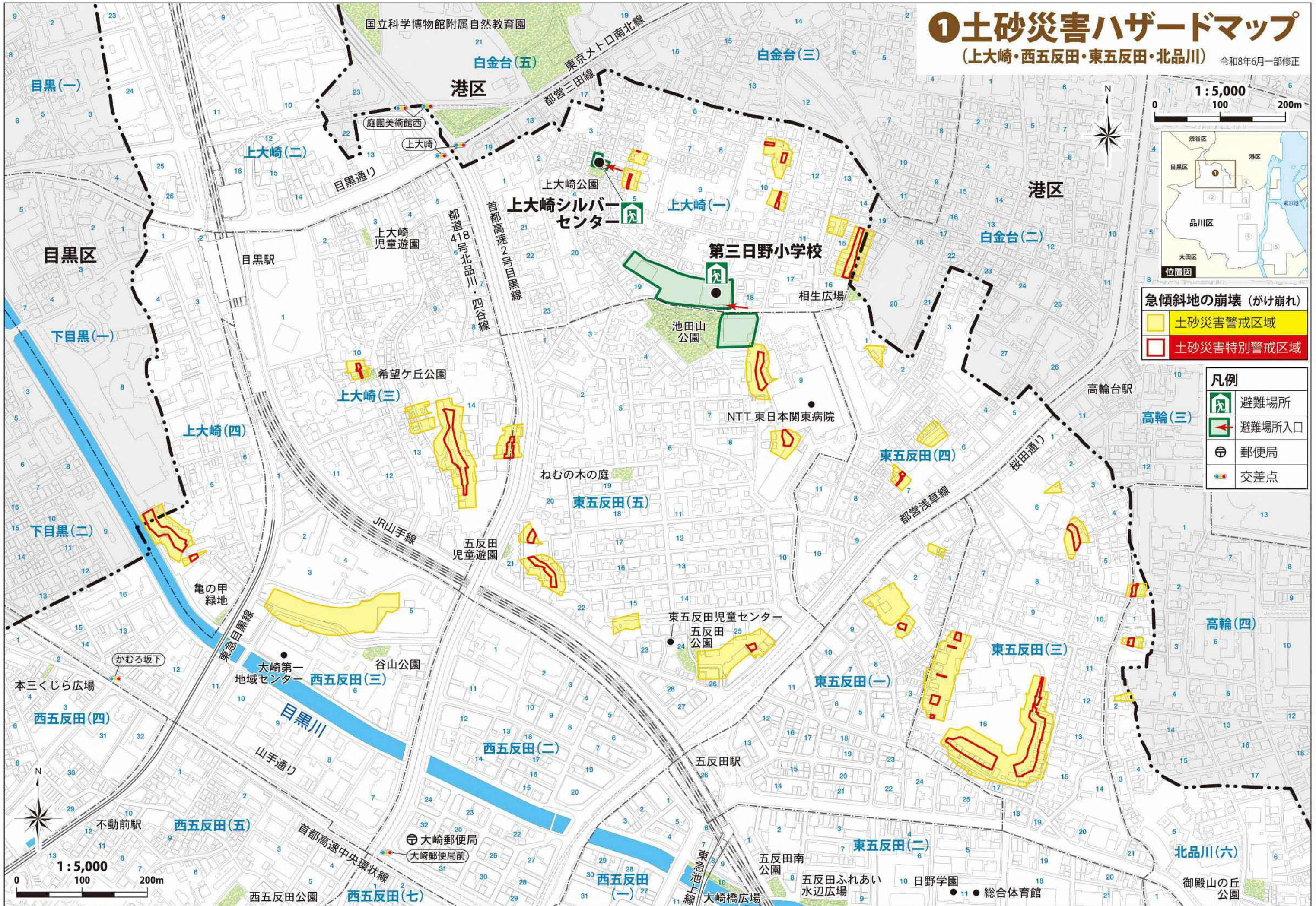
この図は、東京都が令和8年3月25日公表した城南地区を流れる渋谷川・古川、目黒川、立会川、内川及び呑川流域や、雨水が直接海域や国管理河川へ排水される地域等を対象にして、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模降雨の大雨が降った場合に、雨水による浸水が想定される区域と想定される最大の浸水深及び土砂災害防止法に基づき、品川区に指定した土砂災害(特別)警戒区域を示したものです。

なお、この想定は河川の氾濫を考慮しています。  
想定雨量は、城南地区河川流域の1時間最大雨量153mm、24時間総雨量690mmです。  
浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化等により変化することがあります。



# ①土砂災害ハザードマップ

(上大崎・西五反田・東五反田・北品川) 令和8年6月一部修正



急傾斜地の崩壊 (がけ崩れ)  
 土砂災害警戒区域  
 土砂災害特別警戒区域

凡例  
 避難場所  
 避難場所入口  
 郵便局  
 交差点

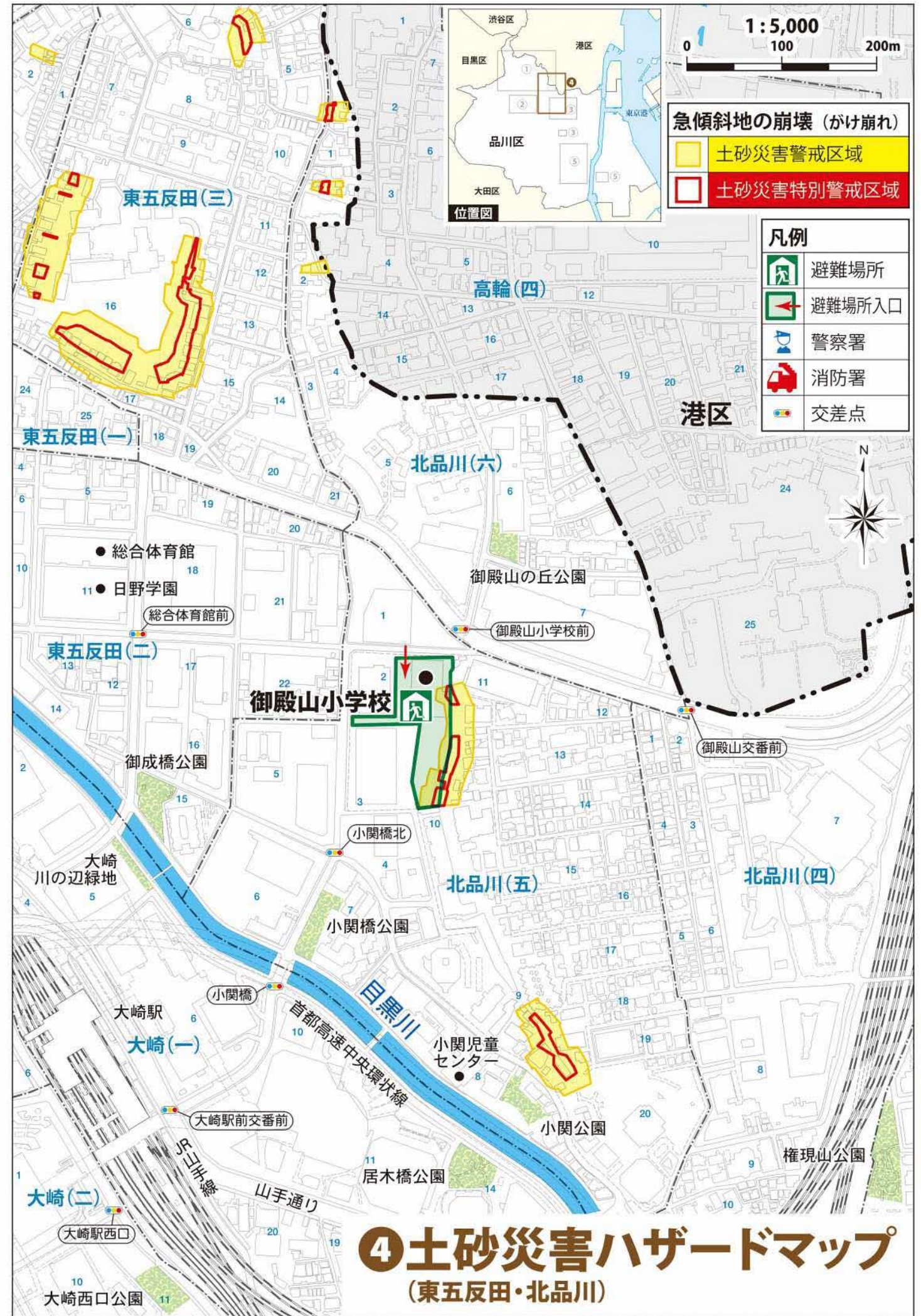
土砂災害ハザードマップ

土砂災害ハザードマップ

## ② 土砂災害ハザードマップ (西五反田)



## ③ 土砂災害ハザードマップ (北品川・南品川)



## ④ 土砂災害ハザードマップ (東五反田・北品川)

土砂災害ハザードマップ

# ⑤土砂災害ハザードマップ

(東大井・八潮)

令和7年4月一部修正



# 自主避難施設・避難場所一覧

居住地区	施設名	自主避難施設※1	避難場所※2			
			目黒川氾濫	高潮	多摩川洪水	土砂災害
品川	御殿山小学校		○	○		○
	品川学園	○	○	○		○
	城南小学校	○	○	○		
	浅間台小学校		○	○		
大崎	第一日野小学校	○	○	○		
	第三日野小学校	○	○	○		○
	第四日野小学校		○	○		
	上大崎シルバーセンター					○
	芳水小学校	○	○	○		
	三木小学校		○	○		
大井	立会小学校	○	○	○		○
	浜川小学校	○	○	○		
	伊藤学園	○				
	大井第一小学校		○	○		
	伊藤小学校	○				
荏原	後地小学校	○				
	清水台小学校	○				
	荏原平塚学園	○				
	大原小学校	○				
	豊葉の杜学園	○				
八潮	八潮学園	○				

- 土砂災害は、原則、立退き避難になります。
- 浸水害は、立退き避難以外に、浸水が及ばない2階等に避難する屋内安全確保も可能です。  
※都営住宅などの共有部分(エレベーターホール・廊下など)に緊急避難をすることも可能です。
- ※1 区内に被害をもたらすような台風の直撃等に際し、自宅での滞在に不安を感じる方を受け入れる施設
- ※2 避難情報の発令等に際し、危険を回避するために一時的に避難者を受け入れる場所

# 土砂災害警戒区域一覧

町名(各一部)	警戒区域(箇所)	特別警戒区域(箇所)	町名(各一部)	警戒区域(箇所)	特別警戒区域(箇所)
上大崎一丁目	6	5	東五反田五丁目	6	5
上大崎三丁目	5	3	北品川三丁目	5	5
上大崎四丁目	2	2	北品川五丁目	2	2
西五反田三丁目	1	0	北品川六丁目	3	2
西五反田八丁目	1	0	南品川六丁目	1	1
東五反田一丁目	3	1	東大井三丁目	4	3
東五反田三丁目	4	3	東大井四丁目	1	0
東五反田四丁目	3	1	八潮五丁目	1	0

土砂災害ハザードマップ

参考図・情報

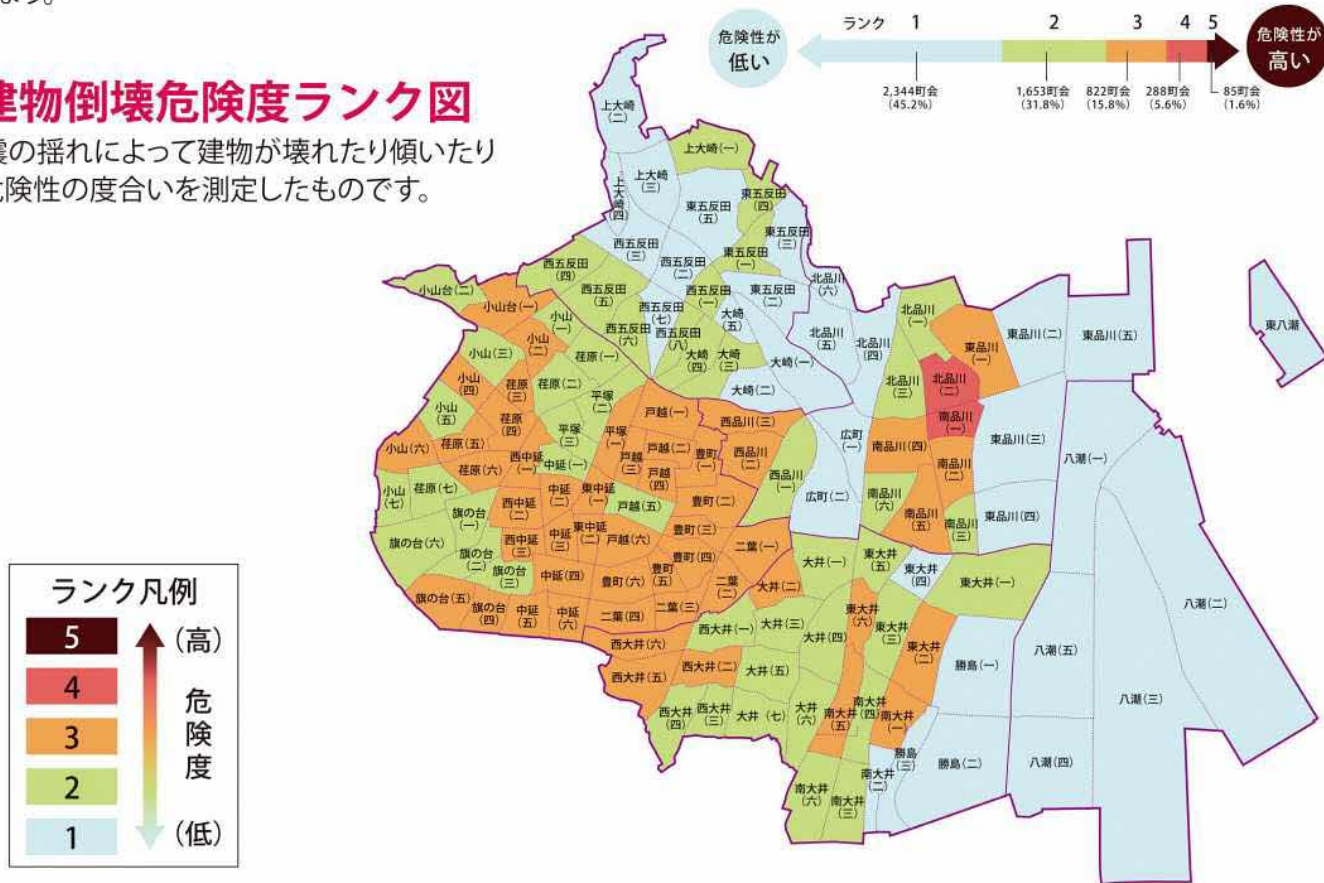
# 参考図：品川区地域危険度（地域危険度調査）

「建物倒壊危険度」「火災危険度」「災害時活動困難係数」とこれら3つを総合的に評価した「総合危険度」を都が発表しています。町丁目ごとに5つのランクに分け、都内の各危険性を相対的に評価したものです。

お住まいの町丁目は、他の地域と比べてどの危険性が高いのかを把握し、どのような避難や備えが必要か考えておきましょう。

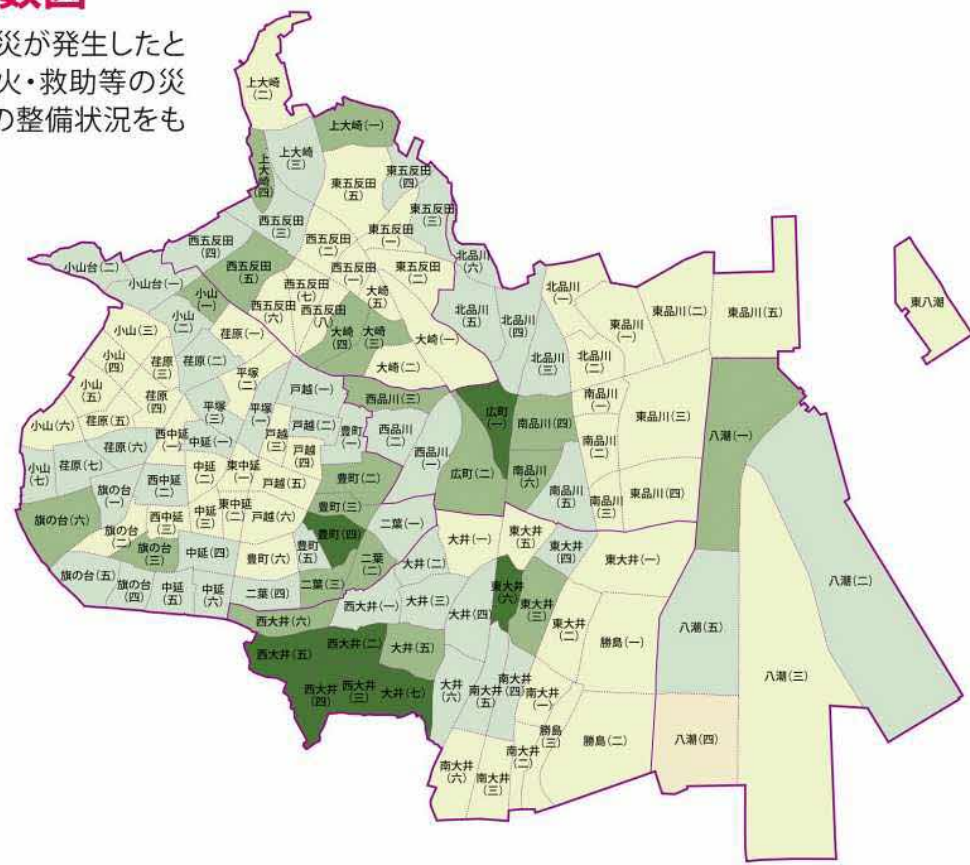
## ◆建物倒壊危険度ランク図

地震の揺れによって建物が壊れたり傾いたりする危険性の度合いを測定したものです。



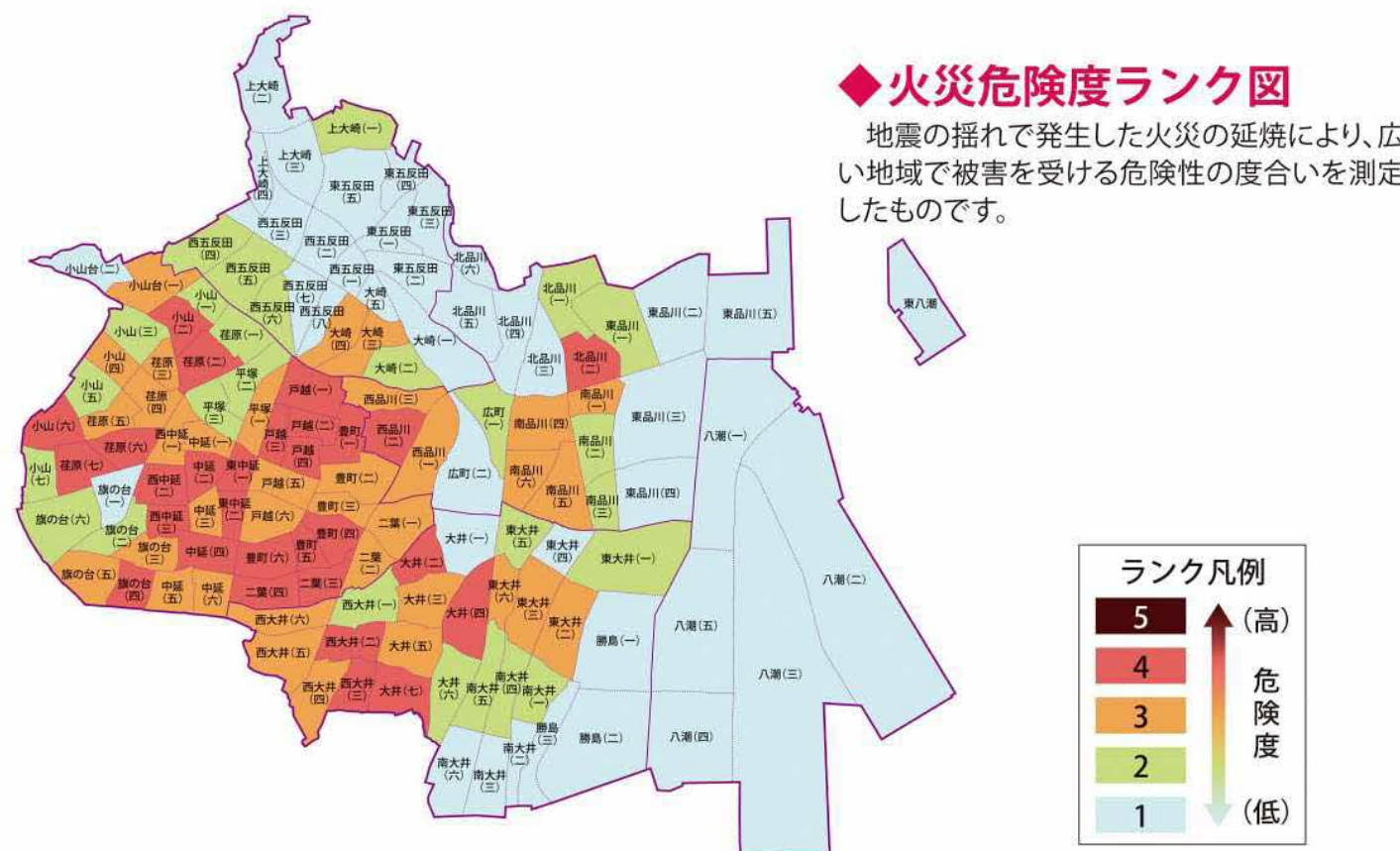
## ◆災害時活動困難係数図

地震により建物が倒壊したり火災が発生したときに、危険地域からの避難や、消火・救助等の災害時活動の困難さを道路基盤等の整備状況をもとに測定したものです。



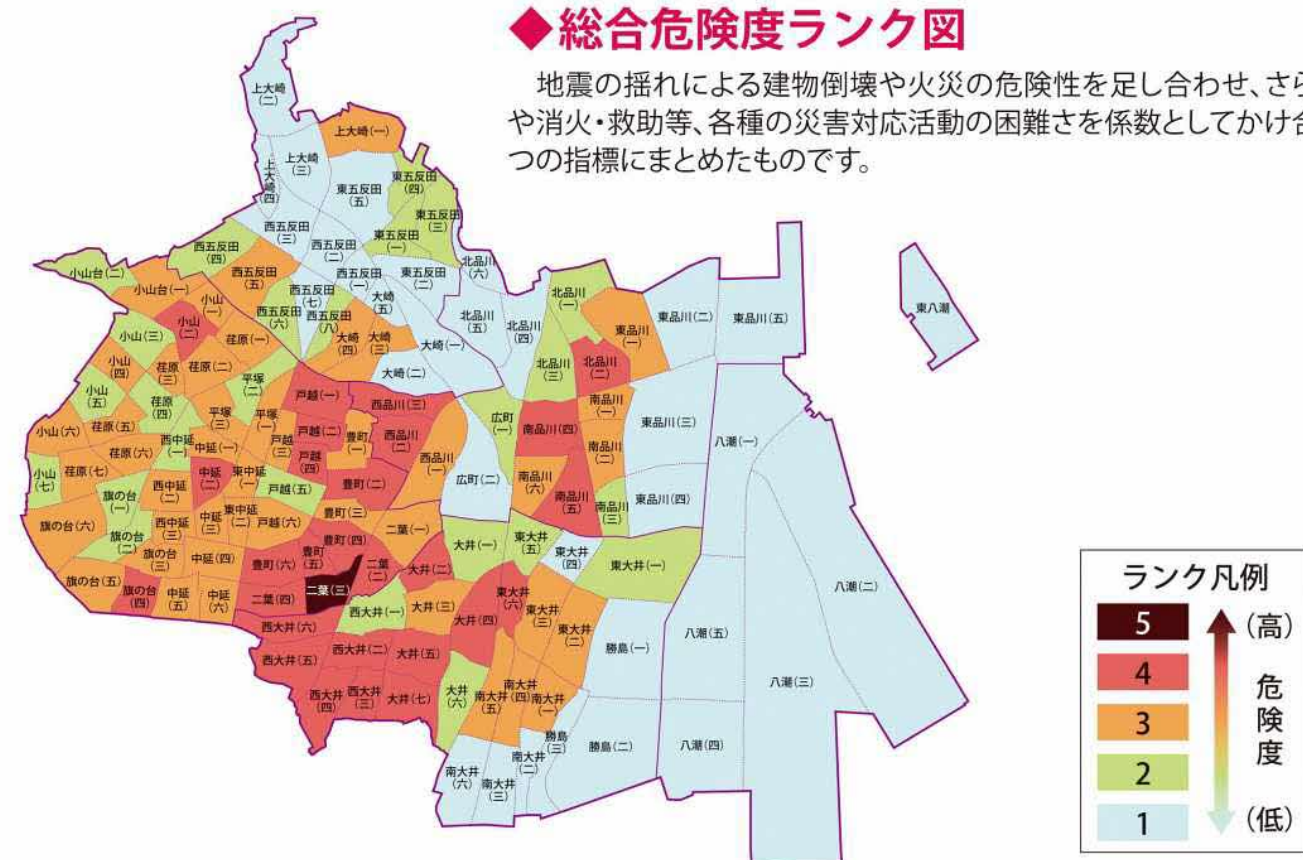
## ◆火災危険度ランク図

地震の揺れで発生した火災の延焼により、広い地域で被害を受ける危険性の度合いを測定したものです。



## ◆総合危険度ランク図

地震の揺れによる建物倒壊や火災の危険性を足し合わせ、さらに、避難や消火・救助等、各種の災害対応活動の困難さを係数としてかけ合わせ、1つの指標にまとめたものです。



## 日頃からの備え

いざというとき、食料品など必要なものが避難の際に手に入らない可能性があります。必要なものを日頃から準備しておき、避難するときに持ち出せるようにしておきましょう。



### 【持出品の一例】

#### ■ 健康状態を知らせるもの

- ヘルプマーク・ヘルプカード
- 障害者手帳
- お薬手帳

支援を受けるために

#### ■ 貴重品など

- 現金(小銭を含む)
- 通帳・印鑑
- 家の鍵
- 身分証明書(運転免許証など)
- 健康保険証
- 緊急時の連絡先がわかるもの
- 携帯電話・スマートフォン、充電器

#### ■ 衛生用品

- 常備薬・常用薬
- マスク
- ウエットティッシュ
- タオル
- 歯ブラシ
- 眼鏡・コンタクトレンズ(洗浄液)
- 携帯トイレ
- トイレットペーパー
- 救急セット

#### ■ 便利品

- 懐中電灯
- 笛・ブザー
- ヘルメット
- 軍手
- 筆記用具とメモ
- ガムテープ
- ビニール袋
- スリッパ
- 携帯用ラジオ

#### ■ 食料品

- 非常食
- 飲料水

アレルギー対応食など自分にあつた食料品を用意

#### ■ 自分に必要なもの(補聴器、白杖、入れ歯など)

- 
- 
- 
- 
- 
- 

自分に必要なものを記入しましょう



防災ハンドブックも読んでおこう！二次元コードからご覧になれます。

## わが家の防災メモ

災害時に備え、家族で決めたことを防災メモに書いて保管しておきましょう。防災メモを携帯電話やスマートフォンのカメラで撮影しておくこともひとつの方法です。また、「しながわ防災ポケットカード」は避難の流れなどの必要なことが確認できます。日頃から財布等に入れて持ち歩くと災害時に便利です。

### ● 避難所

避難所	消防 <b>119</b> 警察 <b>110</b> NTT 災害用伝言ダイヤル <b>171</b>
-----	--

### ● 家族・知人等の緊急連絡先

名前	連絡先名称(会社・学校等)	電話番号	安否確認方法	集合場所



ポケットカードは品川区防災課やお近くの地域センターで配布しています。

## 情報の収集

災害時は、不正確なうわさや根拠のない情報が流れることがあります。信頼できる情報源から、災害の状況、避難所・避難場所の開設状況等、最新で正しい情報を入手できるようにしましょう。

**品川区ホームページ**  
<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>

品川区の気象情報や目黒川・立会川の水位情報、河川監視カメラ画像などもご覧いただけます。

**品川区防災ポータル・アプリ**

品川区の防災情報専門のポータルサイト・アプリです。避難情報発令や避難所の開設、混雑状況などを確認することができます。また、平時の品川区の防災の取り組み、お知らせも閲覧できます。

**品川区 X**  
 @shinagawacity

フォローしておくくと便利です。  
 気象庁から発表される地震情報や気象警報も自動配信します。

**品川区公式LINE**  
 @shinagawa\_city

友だち追加が必要です。  
 防災行政無線の放送内容などをテキスト配信しています。

**しなメール**  
 (しながわ情報メール)

あらかじめ登録が必要です。  
 区からののお知らせ、緊急情報・防災気象情報などから受け取りたい情報を選択できます。

**ケーブルテレビ品川**

品川区民チャンネル(地デジ11ch)では、通常放送画面に警報情報などを文字で表示します。

- L字放送  
警報などの気象情報や目黒川・立会川の水位情報などを表示
- しながわテレビ・プッシュ  
自動的にチャンネルを切り替えたり、テレビの電源を入れたりして緊急情報を配信するサービス(有料)

**FMラジオ**

FMLしながわ(88.9MHz)で、区からの情報や防災行政無線の情報を伝えます。

**緊急時のみ**

**防災行政無線確認ダイヤル**  
 ☎0120-562-3111に電話をかけた後、24時間以内に放送した防災行政無線の内容を音声で聞くことができます。

**避難情報緊急通知コール** あらかじめ登録が必要です。  
 津波・浸水害・土砂災害の危険が想定される地域の方を対象に、区が避難に関する情報を電話やメールで通知するサービスです。

**広報車**  
 危険が予測される地域へ出動し、スピーカーから呼びかけるなどして情報を伝えます。